

## 日本人初の長期滞在概要

- 日本時間3月16日(月)、スペースシャトル「ディスカバリー号」にて、米国フロリダ州・ケネディ宇宙センターから打上げ。宇宙での滞在開始。 ※以下全て日本時間
- 5月29日(金)、ソユーズ宇宙船により新たに3人の長期滞在搭乗員が加わり、3人体制から初の6人体制に移行。
- 7月16日(木)打上げの「エンデバー号」で運ばれた「きぼう」の船外実験プラットフォームの取付け作業を行い、7月19日(日)、「きぼう」完成。
- 7月31日(金)、スペースシャトル「エンデバー号」でケネディ宇宙センターに帰還。
- 日本人初の長期滞在搭乗員として約4ヶ月間の任務を完遂(総宇宙滞在期間:約4.5ヶ月)。



「ディスカバリー号」打上げ



「エンデバー号」帰還

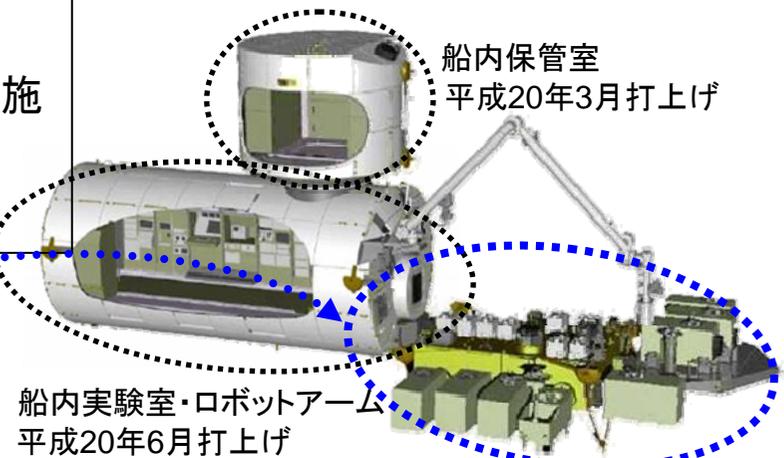
(C)NASA

## 主な任務

- 国際宇宙ステーションの運用、器具の設置、機能点検、補修等
- 「きぼう」船外実験プラットフォームの取付け
- 「きぼう」を利用した日本の実験のほか、米国や欧州の実験の実施
- 宇宙空間の特長を活用した「おもしろ宇宙実験」(24件)の実施
- 搭乗員に対する日常の健康管理・救急処置を担当

## 日本実験棟「きぼう」の概要

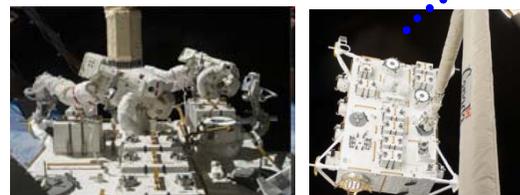
(全長:21m 質量:約27トン)



船内保管室  
平成20年3月打上げ

船内実験室・ロボットアーム  
平成20年6月打上げ

船外実験プラットフォーム  
平成21年7月16日打上げ



船外実験プラットフォーム取付け